

市議会だより No.36

平成27年2月15日



平成27年1月11日（日）防府市
「花燃ゆ」大河ドラマ関連行事

大河ドラマ館オープニングセレモニー
「至誠のざくろ」植樹式：防府天満宮にて

大河ドラマ館にてメインキャストのインタビュー
群馬県前橋市より寄贈された「ざくろ」植樹の様子

12月定例議会

議案の概要	P2～P3
一般質問	P4～P8
会派・議会運営委員会・議会改革 推進協議会名簿、常任委員会名簿	P8
特別委員会の報告	P9

11月臨時議会	P3
視察報告	P9
議会報告会のまとめ	P10～P11
議会日誌	P12
3月定例議会の予定	P12

議会中継（ライブ・録画）がホームページで見られます!! **防府市議会** で検索

平成26年 12月 定例議会

12月定例議会は、12月1日から24日までの会期24日間の日程で開催されました。平成26年度一般・特別会計補正予算をはじめ、指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準等を定める条例、議員政治倫理条例の制定、英雲荘設置管理条例の改正、議会運営委員会及び各常任委員会委員の選任など、議案16件、選任4件、報告1件を審議し、原案のとおり可決しました。

また、正副議長の辞職により、新たに安藤二郎議員を議長に、松村学議員を副議長に選出しました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

人事

■公平委員会委員の選任

再任 岡村眞次さん（大字高井）

■固定資産評価審査委員会委員の選任

再任 村武俊宏さん（国衛三丁目）
再任 村田光則さん（大字西浦）
再任 福田昭二郎さん（大字上右田）

一般議案

■工事請負契約の一部変更

平成26年2月に議会の議決を得て締結し、施工中の桑山中学校校舎改築（建築主体）1期工事請負契約について、防衛省の補助により天井部材を防音性能の高いものに変更する設計変更を行うことに伴い、契約を一部変更しました。契約金額は、46万2,240円の増額で2億7,759万7,800円です。

■指定管理者決まる

次の公的施設について、平成27年4月1日からの管理を行う指定管理者が決まりました。

●まちの駅「つめてらす」

指定管理者 一般社団法人防府市観光協会（～平成32年3月31日）
●スポーツセンター陸上競技場・武道館・体育館・野球場・運動広場・プール、向島運動公園ニースコート・多目的広場指定管理者 アシックス・ビークルー

エッセ・日本水泳振興会共同体（～平成32年3月31日）

条例

■指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準等を定める条例、地域包括支援センターの包括的支援事業の実施基準を定める条例を制定

介護保険法の改正により、同法及び厚生労働省令で定められていた指定介護予防支援（介護予防サビビス計画の作成業務）等の事業の人員や運営等に関する基準や地域包括支援センターが介護予防ケアマネジメント事業等の包括的支援事業を実施するにあたっての人員等の基準をそれぞれ条例で規定することになりました。

■英雲荘設置管理条例を改正

英雲荘本館（玄関棟・大観楼棟・奥座敷棟）を伝統的な芸能、文化活動に使用できるよう新たに使用料の額を定め、適正な管理のための規定を整備しました。

■国民健康保険条例を改正

産科医療補償制度に未加入の医療機関等での出産や在胎週数12週以上22週未満の出産の場合に支給される出産育児一時金の額が39万円から40万4千円に引き上げられました。

■市営住宅設置管理条例を改正

勝坂住宅の供用を廃止し、新たに三田尻本町住宅の供用を開始するものです。

予算

■平成26年度一般会計補正予算

7億8,086万円を減額し、補正後の予算総額を405億5,054万2千円とする予算案が提出されました。

主なものは、いずれも年割額変更に伴う右田小学校改築事業費5億778万5千円、桑山中学校改築事業費3億9,261万2千円の減額、「花燃ゆ」大河ドラマ館の管理運営、PR活動経費2,300万円、向島小学校屋内天井等落下防止工事の調査・設計費用765万円の増額などです。

■平成26年度索道事業特別会計補正予算

大平山ロープウェイの運行休止に伴い、事業費を1,526万7千円減額しました。

行政報告

■源泉徴収に係る事務を自己点検

税務署長からの指導で、建築士、司法書士等への報酬、料金等の支払に対する所得税等の源泉徴収について点検を行った結果、40件、3,522万2,731円の徴収不足が判明しました。徴収不足の源泉所得税等を納税し、関係する個人事業主にはお詫びして所得税等相当額を返還していただくようお願いするとともに、再発防止に取り組んでいくとの報告を受けました。

正副議長就任あいさつ



議長
安藤 二郎



副議長
松村 学

昨年12月議会におきまして、私どもが議長並びに副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、その重責を痛感いたしております。

さて、「地方創生」を掲げた国は、地方の再生は、それぞれの地域が持っている資源を活用して特色を出し、自らが計画することを基本としており、これまでのように国が提案したメニューを選択し、実行するものではないことを明確にしています。この点において、これからは地方議会の役割も重要度を増し、議会では何を論じたかを明確にしなければなりません。

今後とも、本市の発展と住民福祉の向上のため、市民の皆様との対話を一層重視しつつ、諸課題の解決に向けて誠心誠意努力していく所存でございますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

11月臨時議会

平成26年11月25日に臨時議会が開催され、報告3件、承認1件、議案11件を審議しました。主な内容は次のとおりです。

■市職員給与、議員、市長等特別職、教育長の期末手当を増額

国家公務員に準じ、市職員の給与月額を平成26年4月に遡り、平均0・3%引き上げ、同年12月の勤勉手当の支給割合を0・15月分増額、同12月の議員、市長等の特別職、教育長の期末手当の支給割合を職員と同じく0・15月分増額する条例改正案とこれに伴う一般会計及び7事業特別会計補正予算案が提出され、原案のとおり可決されました。

■緊急告知防災ラジオの取得

「コミュニティFM局のFMわっしょい」が行う難聴取地域解消のための周波数変更に伴い、配付済みの緊急告知ラジオを置き換えるため及び新規申込者へ配付するため、緊急告知ラジオを8、300台購入する契約を、指名競争入札により落札した㈱ぶらざFMと契約金額4、598万5、320円で締結するものです。

㈱ぶらざFMが、仕入元のメーカーである業者よりも約16万円安い価格で納入できるということについて理解しがたいという反対意見もありましたが、採決の結果、賛成多数で可決されました。（賛否No.1）

— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否 No.	平成26年11月臨時会	会派・議員名（※議長は除く）																				賛否の合計		議決結果				
		自由民主党 一心会					和の会					絆				公明党			日本共産党		改革の会				市民クラブ		無所属の会	
		上田	橋本	松村	安村	行重	吉村	今津	清水	田中敏	中林	平田	藤村	安藤	河杉	重川	三原	山田	高砂	山下	山根	木村	山本		和田	田中健	久保	賛成
1	財産の取得（緊急告知防災ラジオ）	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	22	2	可決

※賛否の異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない議案等は、全会一致で可決されました。
※行重議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

議員政治倫理条例を制定しました

市議会基本条例に基づき、議員の政治倫理の確立を図り、市民に信頼される民主的な市政の発展に寄与することを目的とする議員政治倫理条例を議員提案により制定しました。

この条例は、議員が遵守すべき政治倫理基準のほか、基準違反の疑いがある場合の市民（有権者の500分の1以上）、または議員（定数の8分の1以上）による調査請求や違反行為の存否を審査する審査会の設置、贈収賄罪等の容疑により、起訴または有罪判決を受けた議員がその職にとどまる場合の説明会の開催等について定めるもので、平成27年4月1日から施行となります。

なお、「議員が遵守すべき政治倫理基準」は、次のとおりです。

- ①品位と名誉を損なうような行為の禁止
- ②地位を利用しての金品の授受の禁止
- ③市の許認可又は請負契約等に関し、特定のものに対して有利又は妨害等となる働きかけの禁止
- ④市職員に対し、自らの権限又は地位による影響力を及ぼし、公正な職務の執行を妨げる行為の禁止
- ⑤市職員の人事への不当な関与の禁止
- ⑥政治的・道義的批判を受けるような寄附等の受領の禁止



Q&A

一般質問



12月定例議会では、12名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を2月下旬に製本しますので、市役所1号館1階情報公開コーナー、防府図書館でご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

弱者を考慮したまちづくりの推進を！

山田 耕治（絆）

問 肢体不自由の方への市の取組は。

市長 身体障害者は、過去5年間で、4・0%から4・2%へ増加している。高齢化に伴う身体機能の衰えで肢体不自由となられる場合も多く、こうした現状を踏まえて、障害者福祉長期計画において生活環境の整備に取り組むこととしている。

問 公共施設について、計画に対しての実施状況は。

市長 文化・スポーツ施設については、新築時にエレベーター、スロープ等を設置、公民館は、スロープは全館、障害者用のトイレは6館。その他、トイレの洋式化については、市民からの要望も強く、学校、公共施設、公園等で順次進めている。

問 車いすで走行困難な歩道の幅員や勾配箇所を点検したことはあるか。

土木都市建設部長 ボラ

ンティアグループによる点検の実施はあり、指摘について対応している。

問 来年以降のイベントで、市への来訪者も増えてくると予想するが、障害のある方へのおもてなしの配慮は。

市長 観光ボランティアガイドやおもてなしスタッフによるおもいやり

問 車いすを利用する方が宿泊できる市内施設は、健康福祉部長 19施設の内、1施設の1部屋。

問 「福祉都市」を、昭和58年に宣言しているが、人にやさしいまちとは言えないと思うが。

市長 おもてなしの配慮は当然で、気を引き締めて対応したい。

要望 福祉都市を宣言している市として、早急な支援制度・整備を求める。

その他の質問項目

◆子ども達への防災教育について

地方創生

「まち・ひと・しごと創生」について

山下 和明（公明党）

問 政府は急激に進む人口減少に歯止めをかけるため、「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、地方創生関連2法案を平成26年11月21日に成立させた。そこで、国の動向に準じて、市長を本部長とし「地方創生本部」を立ち上げ、定住施策や女性の活躍推進も含めた新たな「総合戦略策定」のスケジュールを伺いたい。2点目は、訪日外国人旅行者が増え、経済効果はプラスである。地方の活性化につなげるために観光施策を山口市、周南市、防府市で「3市、共同共有の総合戦略」として協議をしてはどうか。

市長 今後の、まちの将来を考えたとき、地域振興や活性化策は重要であるが、地に着いた地域づくりも必要であり、その根幹をなす教育を再生することが大切であると感じている。平成26年10月6日から内閣府の「教育再生実行会議」第2分科会の委員を拝命し、検討に参画している。人口減少と少子高齢化の著しい富海地区をモデルにした「富海小中学校の一貫教育」と「三世代同居の市有住宅」の取組について提案した。人口減少対策は重要な課題であり、「地方創生本部」の立ち上げは、私を先頭に策定に取り組む。策定のスケジュールは、「第四次防府市総合計画」の見直し作業において重点プロジェクトを明確化し、地方版総合戦略に反映したい。2点目の周南市、山口市、防府市の3市共同共有の観光総合戦略への協議投げかけについては、訪日外国人をターゲットにした観光戦略は重要な着眼点であると考えている。地方版総合戦略の策定において観光施策が打ち出せるよう考えている。

野大ゼロ対策、天満宮周辺の緊急交通対策、 観光振興策、「だれもがワンボラ」運動、地方創生

今津 誠一（和の会）

問 犬の「里親制度」の創設を提案する。

生活環境部長 制度の効果等を研究したい。飼育犬に対する不妊・去勢費用の補助を検討している。

問 6月議会で、天満宮周辺の1朝夕の車輛進入規制、2スピードの取り締り、3駐車場の確保を提案、積極的の回答を得たが、その結果について問う。

土木都市建設部長 1は地元の同意が必要のため、実現していない。2は警察が道路幅員が狭いため、できないこと。3は協議を重ねている。

意見 総じて対応が緩い。重大性に鑑みて関係者を説得する熱意がほしい。

問 「ほうふ知っちょる? ウイズ」を媒体に防府市の歴史・文化等を観光客によく知ってもらうことを提案する。

産業振興部長 本市の歴史・文化等の認知度を向

上させる運用方法等を検討したい。

問 「ワンボラ」とは、だれもが背伸びせず気軽に出来る範囲のボランティア活動をしようというものだが、よく認知されているのか。

健康福祉部長 十分ではない。広報活動を充実させ、普及するよう取り組んでいきたい。

問 国が地方の再生に目を向けたことは歓迎すべき。政策の中心となる人口減少、東京集中の是正、就業機会の創生、少子化対策は、全て「ヒト」が対象。地方創生は「ヒト」がキーワードとなる。このことを念頭に再生政策を立案して戴きたい。

市長 「ヒト」が防府市再生政策のキーワードとのこと指摘に共感する。教育の再生も大切と考える。国の地方創生の機会を逃すことなく、総合的な政策を立案、推進する。

養護教諭不在時の学校での安全面は? 火災予防対策について

上田 和夫（自由民主党一心会）

問 学校での応急処置や怪我の治療、疾病予防など保健室業務を務める養護教諭不在時、代わりに保健室業務を行う保健師や看護師を派遣する制度の導入はできないのか。

教育長 養護教諭不在時は、各学校では学級担任などの教諭や管理職が対応している。危機対応マニュアルの作成、養護教諭による手当の仕方や保健室使用方法の研修のほか、AED操作を年1回、必ず教員全員で練習するなどできる限りの対策をとっている。補助員派遣制度は、県内では山口市のみ導入しているが、本市も各校の実情を更に調査し、研究していきたい。

要望 児童・生徒の命の大切さを考えると、緊急時の対応を養護教諭が行うことにより、教諭ももちろん保護者も安心して子どもを学校へ送り出せる。早急に補助員制度を導入していただきたい。



導入していただきたい。

問 老人福祉施設や病院等のスプリンクラー設置状況及び火災予防対策はどうなっているのか。

消防長 スプリンクラー設置が義務付けられている施設には、すべてに設置してある。平成27年4月から設置が義務付けられる7施設のうち6施設に設置され、1施設も設置予定である。平成25年10月の福岡市での診療所火災に伴い、市内の病院などを特別査察、改善すべきところは改善するよう通知し、その後すべての病院などから改善したとの報告があった。

要望 高齢者や患者さんが安心して生活や治療ができるように、消防用設備等の充実・強化に努めていただきたい。

市民協働のまちづくりについて

山根 祐一（公明党）

問 道路パトロールの状況、市民の要望受付の流れ、完了連絡はどうか。

市長 職員3人体制で月に2回パトロールしている。要望等は市民の窓口来所か電話が大半だ。他に提言箱での受付もある。全ての通報や依頼に対し、完了後の通知は困難だ。

問 行政に様々な相談が寄せられるが、期待することは相談しやすいかと思う。しかし、どこに連絡するのかわからない、電話では伝えにくい、土曜、日曜や夜間では伝えられない。そこで、千葉市の通称「ちばレポ」を紹介する。例えば、道路が傷んでいる、公園の遊具が壊れているといった課題を市民が自分のスマホで撮影し、GPSで場所を地図上に表示してコメントと共に市に送信する。市は自動で担当課に振り分け、受付済、対応

中、又は完了の報告を写真添付して投稿する。状況は常時、誰でも見ることが出来る。以上マスコも注目しているというシステムだが本市で採用してはどうか。

市長 紹介のシステムは市民の要望をスマホを利用して画像及び映像と共に電子データとして市に投稿し、市は迅速な対応を行い、課題の早期解決を目的としている。有効な手段と思うが、解決しなければならぬ課題もあると聞いている。今後、調査研究していく。

その他の質問項目
◆交通安全、防犯対策の推進について



今こそ、空き家対策を 本格的に進めていくべき

高砂 朋子（公明党）

問 老朽化した空き家は、景観上の問題だけでなく、敷地へのゴミの不法投棄や不審者の侵入、放火の要因になるほか、災害時に倒壊して避難や消防の妨げになるおそれがある。市は、平成24年7月、県下で先駆けて「防府市空き家等の適正管理に関する条例」を施行。

市長 ①平成26年10月現在、老朽空き家78件、雑草繁茂53件の情報が寄せられ、27件解決、調査・助言指導中が104件。

②管理不全な状態とならないための対策は重要。防止のためのパンフレットを送付し、情報提供に努める。③平成27年度より一本化に向けて努力する。④この制度の見直しが必要と考える。今後研究してまいりたい。⑤国が基本方針を定めた後、協議会を設置し、空き家等対策計画を策定し、鋭意取り組んでまいりたい。

「防府市定住促進住宅情報バンク」への住宅登録はない状況だが、今後の運用について⑤平成26年11月「空き家対策の推進に関する特別措置法」が成立。計画の策定、協議会の設置、データベース化等情報収集の取組について、以上5点伺う。



◆その他の質問項目

「山頭火のふるさと」防府市における自由律俳句について

障害者福祉長期計画の見直しを 学校司書の充実・歴史概説書作成を

田中 健次（市民クラブ）

問 第4次市障害者福祉長期計画（平成23年度～平成32年度）策定後に、計画の基となる障害者基本法の改正、障害者総合支援法・障害者差別解消法・障害者虐待防止法・障害者優先調達法の成立と障害者雇用促進法の改正がありました。計画5年目となる平成27年度に計画を見直すべきではないですか。

市長 計画が策定された平成23年度以降、ご指摘のとおり関係法令の制定や改正による新制度の創設等がなされ、障害者を取り巻く環境は変化しており、計画の中間年度となる平成27年度に見直し

問 学校図書館法が改正され、学校司書の配置が努力義務として法に明記されましたが、どう対応されるのですか。



問 平成26年6月に介護保険制度を大改悪する「医療介護総合確保推進法」が制定された。第一の問題は、要支援1、2の高齢者を介護保険の保険給付対象から外し、介護保険「非該当」者と一緒にして市の「地域支援事業（代替サービス）」に移行するとしている。このままではサービスが大後退するのは明らかだ。現在、要支援認定者はどれくらいおり、今後はどうなる見通しか。



特別養護老人ホーム（岸津苑）

市長 平成26年9月末現在、要支援1、2の認定者数は2、160人で全認定者の約32%。新しいサービスは、確かに介護保険サービスと比較すると基準は緩やかになるが、利用者の状態等に合わせケアマネジメントするので質が低下するとは考えていない。

市長 国は所得160万円以上、年金収入280万円以上は2割負担としている。

問 第三の問題は、利用者負担1割の原則が破られ、2割負担が導入されることだ。これについての対応は。

介護保険の大改悪！市の対応は？

木村 一彦（日本共産党）

は特別養護老人ホームに入れなくなることだ。これについての対応は。

市長 要介護1、2の方の受け皿としては有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅への入居および介護老人保健施設の増床などで対応していきたい。

空き家対策について
若年層の市政への参画について

久保 潤爾（無所属の会）

問 平成26年第187回臨時国会で空き家対策に関する新法が成立したが、今後の市の取組は。

土木都市建設部長 国の基本指針が示された後に協議会を立ち上げ「空き家等対策計画」を策定し、その計画に沿った条例改正を行いたい。

問 空き家のデータベースを作成することについてどう考えているか。

土木都市建設部長 空き
家の実態を把握し、対策計画を策定する上でも必要であると感じている。
鋭意検討したい。

要望 新法施行に備えての準備と同時に、今ある空き家問題にもしっかりと取り組んでもらいたい。

問 市民アンケートの若年層の回答率が芳しくないがどう考えているか。

市長 今後の社会情勢を考えると若年層の市政への参画は重要であると考えている。参画を促すた

めの取組も種々行っているが、今後も積極的な情報提供に取り組んでいきたい。

問 小・中学生に市政に関心を持ってもらえるような取組はできないか。

教育長 土曜授業において、市の職員を講師として学習を行った学校がある。今後は、市の出前講座も利用するよう学校に提案していきたい。また、新規事業の「菅公みらい塾」において、子どもたちがいち早く学習を行う予定である。



* 空き家問題を放置すると 2023 年の空き家率は 21%になると言われている。

レッドゾーンの地権者の救済は？ 超高齢化に備えた地域交通対策は？

松村 学(自由民主党一国会)

問 レッドゾーン指定された地権者は、法律により家屋・土地に制限がかけられ、財産の侵害を受けるが、地権者に通知し、説明したのか。

市長 レッドゾーン・イエローゾーンに該当する

107自治会の18、656世帯へ市広報等で周知し、15会場で開催した説明会には306人が出席され、土砂災害の防止工事の要望などがありました。

問 財産の目減りも含めて説明し、地権者へ直接通知したのか。

土木都市建設部長 財産
目減りの説明はせず、地
権者へ直接通知はしてい
ません。

問 地価等の目減りはどの程度か。

生活環境部長 固定資産
税では、レッドゾーン
30%、イエローゾーン
5%の減額となっていま
す。

意見 この指定により、

「土地の売買もできない。恐ろしくて住めない。」などの意見もあり、不利益を受けている地権者に市営住宅の住替え移転や融資制度等の救済策を検討するべきだ。



問 10年後には75歳以上

の人口が20%を占める超高齢社会が到来し、高齢者の交通事故多発から高齢者の免許返納が加速している中で、地域の交通網の整備が急務であるが、検討しているのか。

市長 大道切畑で試行的にデマンドタクシーを導

入し、今後は華城、佐波、勝間、牟礼、江泊周辺の交通不便地域への対応を検討します。

公契約条例の制定を
大道駅のバリアフリー化を

山本 久江（日本共産党）

問 国や地方自治体が発注する公共工事や業務委

託に従事する者の適正な労働条件等を確保するために、公契約条例の制定を求めたいが、どうか。

入札検査室長 労働条件
の向上及び労働環境整備
につながる考え方につい
て注目しているが、いま

だ全国的には賛否両論の状況にある。引き続き、国や県あるいは他の自治体の動向を注視しながら適切に対応したい。

問 入札制度の総合評価方式に、一定の賃金水準の確保や雇用の維持等の評価点を加えることはできないか。

入札検査室長 総合評価
方式の評価項目の見直し
については、地域貢献度
に關し、平成24年8月に、
市内の資材の購入計画及

び市内下請の活用の評価基準の見直しを行っている。一定の賃金確保や雇用の維持等については、

県及び他市の状況等を調査研究したい。

問 公共工事の品質確保や下請業者へのしわ寄せ防止、建設業者の健全発展等の観点から、最低制限価格の算出について、直接工事費を0・95から1・0に引上げられないか。

入札検査室長 公共工事の適正な施工と担い手の確保は喫緊の課題であり、引上げを検討したい。

問 大道駅を高齢者や障

害者の方が利用しやすい
ようバリアフリー化でき
ないか。

市長 必要性は十分に認識しており、今後とも西日本旅客鉄道株式会社に、対し、県や市長会を通じ、大田駅のバリアフリー化について強く要望していきたい。



バイオマス発電、プレミアム商品券の発行について

吉村 弘之（自由民主党一心会）

問 クリーンセンターにおけるバイオマス発電の現状と今後の見込みは。

市長 稼働後の発電量は、月平均約160万kW/hで、約4千8百世帯分に相当。お示しの6千世帯分の発電量は当初計画のもので、新分別区分導入後は「ゴミの減量化に見合ったもの」。

問 中国電力（株）とエア・ウオーター（株）のバイオマス・石炭混焼発電所の事業計画と市の協力体制について。

市長 発電能力は約11万2千kWで、石炭を年間25万t、県内の間伐材等の木質バイオマスを年間4万t燃焼させる計画。事業計画は、平成26年度から環境アセスメント、平成28年度後半から建設に着手し、運転開始は平成30年度半ばになる見込み。市としては、情報収集等に努め、柔軟な対応に努めたい。

問 市における未利用木材の現状とその有効活用について。

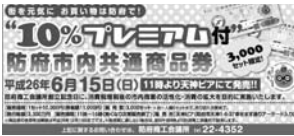
市長 本市における間伐材は、市有林が大半で、平成25年度は462m³で15〜20%がバイオマス燃料として使用されている。

問 市内共通商品券の発行についての実績は。

産業振興部長 平成26年度は、12月現在で約12万3千枚発行されており、金額にして約1億2、300万円となっている。

問 プレミアム商品券に使える交付金が国から出た場合、市独自の率を上乗せしたスーパープレミアム券を発行する考えは。

市長 詳細についてわからないので、現段階ではない。



会派・議会運営委員会・議会改革推進協議会名簿

会 派 名	人数	所 属 議 員 名 (◎代表者)	議会運営委員会 (任期1年) (◎◎正副委員長)	議会改革推進協議会 (任期2年) (◎◎正副会長)
自由民主党 一心会	6	◎行重延昭 上田和夫 橋本龍太郎 松村 学 安村政治 吉村弘之	○安村政治 行重延昭 吉村弘之	上田和夫 ○吉村弘之
なごみ 和 の 会	6	◎今津誠一 清水浩司 田中敏靖 中林堅造 平田豊民 藤村こずえ	田中敏靖 藤村こずえ	清水浩司 中林堅造
絆	5	◎山田耕治 安藤二郎 河杉憲二 重川恭年 三原昭治	三原昭治 ◎山田耕治	重川恭年
公 明 党	3	◎山下和明 高砂朋子 山根祐二	山根祐二	◎高砂朋子
日本共産党	2	◎山本久江 木村一彦	木村一彦	山本久江
改革の会	1	◎和田敏明		和田敏明
市民クラブ	1	◎田中健次		田中健次
無所属の会	1	◎久保潤爾		久保潤爾

※会派は、主として政策に関して同一の理念を共有する議員が集まってつくる集団です。この会派を中心に議会活動をしています。

※防府市議会では、現在8の会派が構成されています。

常任委員会名簿（任期2年）

委員会	委員数	所属委員名（◎委員長、○副委員長）	所管事項
総 務	9	◎三原昭治 ○久保潤爾 中林堅造 橋本龍太郎 平田豊民 山根祐二 山本久江 行重延昭 和田敏明	防災・企画・財政・文化・スポーツ・消防・選挙など
教育厚生	8	◎河杉憲二 ○藤村こずえ 安藤二郎 田中健次 田中敏靖 松村 学 山下和明 吉村弘之	健康・福祉・教育・文化財など
環境経済	8	◎重川恭年 ○上田和夫 今津誠一 木村一彦 清水浩司 高砂朋子 安村政治 山田耕治	税務・戸籍・環境・産業・観光・道路・上下水道・競輪など
予 算	24	◎行重延昭 ○橋本龍太郎 議長を除く全議員	一般会計予算

視察報告

環境経済委員会

(平成26年10月21日～23日)

環境経済委員会として、兵庫県姫路市の「エコパークあぼし」の環境学習センターについて、滋賀県長浜市の「大河ドラマ軍師官兵衛を活かした観光政策について」、滋賀県彦根市では、「新観光振興事業について」視察しました。

エコパークあぼしは、市民の快適で衛生的な生活環境を維持するために整備された施設で、資源ごみを効率的にリサイクルするための再資源化施設や、ごみ・環境問題を楽しく学び体験することができる環境学習センター、余熱を利用して行う健康増進施設(温水プールなどを備えた健康増進センター等)をあわせて整備され、市民が訪れやすい施設となっていました。



2日目の長浜市では、軍師官兵衛を活かした観光政策において、大河ドラマ「軍師官兵衛」を起爆剤にし、長浜・黒田家発祥の地として、市の認知度の向上と新たな地域ブランド創出による観光客の誘致誘客や地域経済の活性化を図っていました。

また、滞在型のおもてなし観光都市づくりを進める中で、宿泊滞在型観光客を増やすための取組も実施されていました。

他自治体への視察・事務調査を行うことにより、参考となる部分を今後の市政に反映させてまいります。

総合交通体系調査特別委員会の報告

(平成26年10月3日開催)

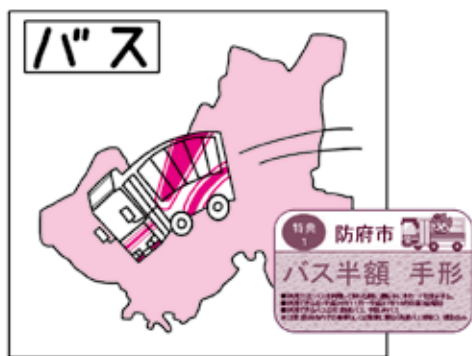
新たな交通サービスの導入については、執行部から「一部地域において、試験的な導入について協議を進める中、大道の切畑地区で必要性について調査した結果、デマンドタクシーの利用を希望される方が多かったことから、これの導入に向けて現在、準備を進めております。また、富海の石原・戸田山地区で調査したところ、デマンドタクシーの利用を希望される方が少なかったことから、より利便性の高い手法を今後、検討してまいります。」との説明がありました。

委員から「切畑地区では行き先がJR大道駅のみであるが、JR防府駅や県立総合医療センターを追加できないか。」との質疑があり、これに対して、「路線バスとデマンドタクシーの運行区間などの課題についてバス事業者と協議を重ねた結果、行き先をJR大道駅のみとしております。」との答弁がありました。

生活交通活性化に向けた取組では、(仮称)バス半額手形、防府市生活交通マップ及びサイクル&ライドの推進について説明がありました。

説明に対し、

「マップには、市外から転入してこられた方のためにも、読みづらい地名にフリガナを付しては。」との提案があり、「御提案に沿ってよりわかりやすいものにしたします。」との答弁がありました。



2つの特別委員会を設置

特別委員会は、複数の常任委員会にまたがる事項や市政の重要課題のうち特定の事項について調査や審査を行うために設置されるもので、12月議会で次の2つの特別委員会が設置されました。

■総合交通体系調査特別委員会(定数12人)

主要幹線道路網整備、海上交通、生活交通及び環境に配慮した交通手段も含めた総合交通体系の諸問題について調査研究していきます。

委員名簿(◎委員長、○副委員長)

- | | |
|--------------|-------------|
| ◎山田耕治(絆) | 中林堅造(和の会) |
| ○久保潤爾(無所属の会) | 平田豊民(和の会) |
| 上田和夫(国民共産党) | 安村政治(国民共産党) |
| 木村一彦(日本共産党) | 山下和明(公明党) |
| 重川恭年(絆) | 行重延昭(国民共産党) |
| 清水浩司(和の会) | 和田敏明(改革の会) |

■庁舎建設調査特別委員会(定数13人)

市庁舎の現状及び課題を把握するとともに、まちづくり、地域経済等に大きな影響を及ぼす庁舎建設の在り方について調査研究していきます。

委員名簿(◎委員長、○副委員長)

- | | |
|--------------|-------------|
| ◎田中健次(市民クラブ) | 藤村こずえ(和の会) |
| ○河杉憲二(絆) | 松村 学(国民共産党) |
| 安藤二郎(絆) | 三原昭治(絆) |
| 今津誠一(和の会) | 山根祐二(公明党) |
| 高砂朋子(公明党) | 山本久江(日本共産党) |
| 田中敏靖(和の会) | 吉村弘之(国民共産党) |
| 橋本龍太郎(国民共産党) | |

議会報告会

市民に開かれた議会へ



議会報告会を6月4日から13日まで、議員が4班に分かれ、市内15地区で開催し、407名にご参加いただきました。

議会及び行政への質問、意見、要望等とその回答の一部を広報編集委員会でご覧いただけるものを掲載しています。

議会への質問等と回答

問 議会の委員会での協議内容を知らせてほしい。

答 検討してまいります。

問 傍聴者を増やすために、議会開催の日時を土日にするなど市民の立場で考えてはどうか。

答 土日議会を開催している市議会の状況を調査し、検討してまいります。

問 議会の議事録だけでなく議案書を図書館等に置いてほしい。

答 執行部と協議し、12月議会から図書館の行政資料コーナーに置きます。

問 山口市はケーブルテレビで議会中継があるが、防府市ではできないのか。高齢者のためにもケーブルテレビで放送してほしい。

答 山口市と議会の開催日程がほぼ同時期になるため、防府市がケーブルテレビで中継するとすれば、生中継ではなく遅い時間帯になることが予想されました。インターネットは、生中継のほか録画中継により、いつでも見ることが可能である点がケーブルテレビよりも優れており、インターネット中継としました。ケーブルテレビによる議会中継は、今後の研究課題といたします。



行政への質問等と市執行部の回答

AEDの屋外設置

問 公民館や小学校等に設置のAEDは、職員の勤務時間以外は使用できないが、何か方策はないか。

答 閉館時でも利用できる屋外設置の場合、適正な温度管理や盗難対策等が必要です。これらの対策を研究し、AEDの屋外設置を検討してまいります。

また、補助金の新設は考えておりません。

自治会加入の促進

問 自治会加入率が80%と言われているが、未加入者はどのような人で、どう対応しているか。

また、自治会加入申込カードに「ふりがな」欄を付けるなど工夫して加入促進を進めてほしい。

答 未加入者は、独身寮入居者や同一住所で別世帯の方、単身で仕事の都合により長期間居住予定のない方等ではないかと推察しております。

市では、平成10年から「自治会加入のお願い」チラシを配布し、自治会加入促進を図っておりますが、これには「ふりがな」欄を設けております。

様々な地域活動、特に自主防災活動等の防災対策における自治会の役割は大きく、加入率が低下すれば「共助」が成り立たなくなるため、今後は、自治会活動への参加啓発についても自治会連合会と協議してまいります。

小野地区の過疎化対策

問 奥畑地区で高齢化率が90%の過疎になるなど小野地区全体で過疎化が進行しているが、これの対策をどう考えているか。

答 県から中山間地域に指定されている小野地区では、現在、県が策定する「中山間地域づくりビジョン」に示されている地域の将来計画「地域の夢プラン」を作成され、実践される段階を迎えておられるとのことですので、市といたしましてはこれを尊重しながら、国・県とも連携し、地区の取組を支援してまいりたいと考えております。

野島の振興



問 野島の振興策として、定期船の運賃について半額割引をお願いしたい。

答 島民の皆様の運賃負担軽減についてのご要望に対する切実な状況は十分把握しております。

平成23年度に見直しを行い、年間24枚の運行無料券を交付しております。

防府市議会のホームページで 会議録の検索ができます

平成16年3月定例会以降の本会議の会議録について、年や会議名から閲覧できるほか、言葉や発言者名、内容などから検索できるようになりました。

《アクセス方法》



「防府市議会」のトップページから「会議録・会議録検索」をクリックしてください。



「会議録検索」のページはこちらからご覧ください。（外部リンク）をクリックしてください。



「ことばから検索」・「発言者から検索」等をクリック、調べたい言葉や発言者の名前等を入力し、該当の会議録をご覧ください。

※会議録は、本会議の様子を記録したもので、定例会、臨時会ごとに作成しており、ホームページでは、本会議終了からおおむね3か月後に閲覧できます。

議場に弦の響き 街角コンサート♪

第14回防府音楽祭「ほうふニューイヤークンサート2015」のオープニング街角コンサートが、1月9日にまちの駅「つめてらす」や地域協働センター「ルルサス防府」など市内7カ所の施設で行われました。

昨年に引き続き、2回目の開催となる市議会議場でのコンサートでは、防府市出身の田村昭博さん（ヴァイオリン）、吉田篤さん（ヴィオラ）に加え、荒井章乃さん（ヴァイオリン）、広田勇樹さん（チェロ）の弦楽四重奏により、ヨハン・シュトラウスの「美しき青きドナウ」などが披露され、小さなお子さんを連れたご家族や市外からの参加者など約140名の方が、議員席や執行部席などに座って美しい調べに酔いしれました。



現行の補助制度につきましては、利用状況を見ながら研究してまいりたいと考えております。

置等廃棄物の搬入

問 置等廃棄物の受入量が従来より減らされているが、何とかしてほしい。

答 不燃ごみ・粗大ごみに該当する事業系廃棄物は、1事業者につき1日5点以内の搬入量制限を設けております。置についても1日5置まで旧施設の半分になっておりますが、切断せず搬入できるようになりました。

また、1辺の長さを50cm以内に切断し、可燃ごみとして搬入する場合は、制限を設けておりません。

山頭火ふるさと館整備 予定地前の交通対策

問 山頭火ふるさと館整備予定地の前面道路は、現在でも1日1万台の車両がスピードを出して通行し、危険である。対策を何とかしてほしい。

答 当該地区は「ゾーン

30」の区域指定により、歩行者や自転車の安全確保のため車両のスピードを抑える規制が行われておりますが、「ゾーン30」の趣旨について市民への啓発に努め、警察や公安委員会と協力して各種交通事故防止対策を行ってまいりたいと思います。

その他、路面に凹凸を施す、道幅を狭くする、朝夕の時間指定による進入規制を行う等の対策案が考えられますが、実施にあたっては地元のご意見をお聴きしたいと考えております。



西植松農村公園の整備

問 西植松公園の位置付けはどうか。

また、要望している遊具や植樹の計画など今後の整備計画はどうなっているか。

答 農村地域の住民の憩いの場、スポーツ・レクリエーションの場である農村公園として、平成13年3月に開設された西植松農村公園は、その後、トイレや水飲み場、フェンス等が整備され、平成24年5月には地元の皆様により藤棚2基が設置されております。

市街地調整区域にあるため、建物の建築には制限がありますが、遊具の設置や植樹は可能であるため、地元のご要望をお聴きしながら利用促進に資するような整備を検討いたします。





議会日誌



11月

- 10日 議会改革の視察受入（鹿児島県西之表市）
- 12日 議会改革の視察受入（長野県長野市）
- 14日 全員協議会
議会改革推進協議会
山頭火ふるさと館検討協議会
- 17日 教育厚生委員会（所管事務調査）
- 19日 議会運営委員会
- 20日 環境経済委員会（所管事務調査）
- 25日 臨時議会
全員協議会
勉強会
広報編集委員会
- 26日 議会運営委員会
- 28日 会派代表者会議
議会改革推進協議会

12月

- 1日 12月定例会開会
広報編集委員会
- 4日 本会議（一般質問）
- 5日 本会議（一般質問）
- 8日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
- 11日 予算委員会（全体会）
- 12日 常任委員会・予算分科会（総務）
- 15日 常任委員会・予算分科会（教育厚生）
- 16日 常任委員会・予算分科会（環境経済）
- 17日 議会運営委員会
- 18日 予算委員会（全体会）
議会改革推進協議会
- 24日 12月定例会閉会
広報編集委員会

1月

- 9日 防府音楽祭街角コンサート（議場）
全員協議会
広報編集委員会
- 14日 全員協議会
- 19日 議会概要報告会
- 21日 広報編集委員会
- 26日 議会改革推進協議会
- 28日 議会改革の視察受入（兵庫県淡路市）
- 29日 広報編集委員会

3月定例議会の予定

- 2月 25日 本会議（開会）
予算委員会（全体会）
- 26日 常任委員会・予算委員会分科会（総務・教育厚生・環境経済、現年度分）
予算委員会（全体会・採決）
- 3月 4日 本会議（現年度採決、市長施政方針等）
- 5日 本会議（一般質問）
- 6日 本会議（一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）
- 10日 本会議（一般質問）
- 11日 予算委員会（全体会）
- 13日 常任委員会・予算委員会分科会（総務）
- 16日 常任委員会・予算委員会分科会（教育厚生）
- 17日 常任委員会・予算委員会分科会（環境経済）
- 20日 予算委員会（全体会・採決）
- 25日 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時（3月20日は、午後1時）です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

編集後記（表紙の説明）

平成27年1月4日から始まった大河ドラマ「花燃ゆ」の放送に合わせて、1月11日にルルサス防府で大河ドラマ館「文の防府日和」がオープンしました。

当日は、オープニングセレモニーに約3,000人の方が来場され、大変賑いでしたが、今後も全国や海外からたくさんの方の観光客が来られることが期待されます。

本市の歴史や文化のみならず、「幸せます」をおもてなしの心で発信できればと思います。

なお、本局から広報編集委員会のメンバーが代わり、新体制となりました。新しいメンバーは、左記のとおりです。

これからも、市民に親しまれ、読みやすい紙面となるよう努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

議会広報編集委員会

◎吉村弘之 ○重川恭年

久保潤爾 山本久江

田中敏靖 和田敏明

（◎委員長 ○副委員長）